

伴野豊の絆レポート



伴野豊の活動報告

皆さん、こんにちは！ 伴野豊です。秋本番、いかがお過ごしですか。さて、先の十月十五日、第185回臨時国会が召集され、会期を十二月六日までの五十三日間とし、開会されました。安倍政権の九ヶ月が問われる国会となります。待ちに待たせた国会ですから、安倍さんご自身のお考えと言葉でハッキリと、国家ビジョンや日本の将来について、語って頂けるものと期待しておりました。しかし、所信表明、代表質問の答弁を聞く限り、安倍政権の本性、安倍総理の本音は、聞かれずじまい。一方、野党も今こそしっかりとチェック機能を果さなければ、存在価値がありません。とりわけ民主党、ここへ来て、いい意味で開き直り、「改革政党」としての原点に立ち返り、安倍政権、政府与党の九ヶ月を与党経験を活かして、しっかりチェックしてもらいたいものです。いずれにしても今国会も、税と社会保障制度改革、雇用契約のあり方、成長戦略、エネルギー問題など、皆様方の生活に直結する重要な案件が国会で議論されます。政治を腐敗させるも、活性化させるも国民の皆様方の関心次第ですので、どうぞご注目よろしくお願い致します。

伴野豊の気になる国土交通政策



国土交通行政絡みでは、国土強靱化法や南海トラフ法が議員立法で提出され、継続審議になっており、災害対策特別委員会で審議される予定です。また、国土交通省からは、交通政策基本法が提出されるとのこと。「交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、交通施策についての基本理念、交通施策の推進にあたり基本となる事項等を明らかにする」とのこと。交通基本法と、どこが違うんですかね。また、前通常国会で廃案になった海賊対処法案もあります。どうぞご関心を。国土交通委員会では、JR北海道についての質問、議論は避けて通れないものと思われまます。列車脱線事故から特別保安監査結果、それに伴う改善命令と今後の対策、更にはその先にある業務改善命令に至るまで、相当の質問、議論がなされることでしょう。その中で、経営姿勢、経営体質、労使関係、主要組合の実態、現場管理のあり方等、問われるのは必然でしょう。労働組合の民主化を先送りしてきたツケはあまりに大きいことは言うまでもありません。国会でもその実態が国民の皆様方の前に明らかになり、国民の皆様方に、真に必要なとされ役に立ち愛され安全な公共交通機関であるところの鉄道会社として生まれ変わることを切に願うものです。

伴野豊の気になる本



今回の伴野豊の気になる本は、日本再建イニシアティブ著「民主党政権 失敗の検証」です。民間の独立した立場とグローバルな視点から、日本を再建する新たなビジョンを描くことを目的とするシンクタンク「日本再建イニシアティブ」による「民主党政権三年三ヶ月」を検証した報告書です。「自民党が再生したわけではなく、民主党が単に自滅しただけ」「改革政党の原点に立ち返り、政権担当能力を磨け」「野党第一党が総選挙で勝利し政権につく、政権交代が普通になる時代の幕開け」教訓をシッカリ肝に銘じ、出直します。「中公新書（定価：本体900円＋税別）」



ば

ばんの豊 フェイスブック

検索

伴野豊事務所 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

E-mail: office@bannoyutaka.jp

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

